



やまぎし み
山岸はる美 議員

問 ごみ細分化の成果は

答 町民の協力で大きな成果

「古紙類に含まれる紙製容器包装」と「その他の紙類」が分別され、資源ごみとして排出された結果の現れだと考えています。

議員 10月からごみの細分化がスタートしました。生ごみはバイオガス発電に、プラスチック製容器包装等は再資源化が図られています。また、平成5年から稼働している町焼却施設は老朽化しており、広域処理までの今後の対応は、

町長 燃えるごみは、昨年11月が80トでしたが、本年11月は48トで4割の大幅な減量となっています。これまでに、「燃えるごみ」として排出していた「生ごみ」「プラスチック製容器包装」「古紙類に含まれる紙製容器包装」と「その他の紙類」が分別され、資源ごみとして排出された結果の現れだと考えています。



手作業で選別される資源ごみ

議員 資源ごみは、昨年11月が24トでしたが、本年11月には36トで、5割の大幅な増量となっています。そのうち、生ごみが8割を占めていて、10トは畜産開発公社の畜ふんバイオガスプラントで処理、再資源化が図られています。

町長 町民の理解と協力により、大きな成果を上げています。

問 町内の「いじめ」の実態と防止対策は

答 学校をはじめ関係機関等と連携を密に対応



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

議員 今、全国規模で学校でのいじめが発生し、自殺者も出るなど異常事態となっています。すでに今年度半年間で14万件を超え、昨年度の2倍以上です。町内小中学校のいじめの実態と防止対策は。

町長 8月に実施した文部科学省の「いじめの緊急調査」によると全国、県内とも小中学校が最も多く、中学校、高校の順で発生しています。いじめの内容では「冷やかしかからかい、悪口や脅し、いやなことを言われる」が6割を占めています。町内小中学校の同調査では、小学校2件、中学校1件の発生で、現在解決の方向です。1校当たりの認知件数も県が平均3・1件に対し、当町は0・4件です。いじめの防止対策は、好ましい人間関係の育成

はもとより学校、家庭や地域で子どもたちに思いやりの心、命の大切さを教え、互いに協力し合う態度を育む教育の推進と道徳教育の充実にあると思います。いじめは、どの子ども、どの学校にも起こりうることを認識し、併せて「あつてはならないこと、絶対にゆるされないこと」の認識を強く持ち、いじめ問題が起こった場合には、学校、家庭、地域、関係機関が密接に連携対応し、早期の解決に努めます。

議員 新しい葛巻病院建設の進捗状況は



建設候補地の葛巻病院玄関前駐車場

町長 現在、新病院建設に向け、「病院整備基本構想の策定と建設候補地の最終決定の事前調査」を中心に進めています。9月に病院整備検討委員会を13人で立ち上げ、基本構想素案の策定を諮問しました。これまでに、また、病院整備検討委員会の審議内容も見えない状況ですが、現段階での新病院建設の進捗状況は。

問

畜産公社で農家支援の考えは

答

今後要望あれば対応する考え

議員 平成24年は、乳牛導入120周年の記念すべき節目の年です。しかしながら、原発事故による除染作業などに、粗飼料の不足が懸念されています。このような中、町の第一次産業のけん引役である畜産開発公社で、町内の畜産農家へ粗飼料を供給する考えは。

町長 畜産開発公社は、町内に1100頭の粗飼

